

但馬

春の訪れ 勇壮に 養父のお走りまつり



「お走りさん」とも呼ばれ、但馬地域に春の訪れを告げる養父市の「お走りまつり」が13日、始まった。好天に恵まれ、恒例の「川渡御」には約200人の市民らが集まった。

午前9時、重さ約150キの神輿が養父神社(同市養父市場)を出発し、午後0時半過ぎに小城橋近くの大屋川に入った。

「はっとう、よびざるか」と掛け声をあげながら、10人の神輿かき「かい丁」が川を渡ると、多くのアマチュアカメラマンがシャッターを切った。

初めてかい丁として川渡御を経験した人たちは、「古くからの伝統行事に加わって光栄です。流れがきつかった」(養父市場、会社員児島俊介さん〓39)、

「感無量。楽しかった」(藪崎、会社員池本英右さん〓39)と話していた。

神輿は夕刻、建屋地区に到着。14日は午前8時に出発して斎神社へ。午後1時ごろ建屋公会堂付近で練り合わせがあり、夜に養父神社に戻る。問い合わせはお走り祭り保存会(079・6655・0252)。

(甲斐俊作)